

## 授業概要

体育科に関わる現代的課題と体育科教育の意義・目的を取り上げ、学習指導要領に示された目標・内容を整理し、何のために何を指導するかを講義する。「プレイ論」や「遊びの分類」の視点から運動を捉え、それらがもつ特性に触れるとともに、スポーツ運動学における運動観察といった周辺領域の知見をもとに、具体的な指導方法に迫る。そして、指導計画の作成にあたって考えるべき条件を理解し、運動に関わる知識の活用に伴う相互評価や伝達といった対話的な学びのための運動観察と言語活動、情報機器の活用方法を理解した上で、年間指導計画、単元の指導計画、1 単位時間の指導計画を作成する方法を講義・指導する。

## 授業計画

第 1 回	「オリエンテーション」体育科教育の意義と目的、現代的課題と学習指導要領改訂の経緯
第 2 回	「体育科の目標と内容」指導要領改訂による目標と内容の変遷と体育科への期待
第 3 回	「運動学習と遊び・運動特性」ホイジンのプレイ論とカイヨワの遊びの分類、運動の特性論
第 4 回	「体育科の方法 1」内容と特性を踏まえた教材選定や教具の活用、学習形態などの具体的な指導方法
第 5 回	「体育科の方法 2」試行とめざす動きとの比較による動きの修正に必要な運動観察の考え方
第 6 回	「情報機器の活用と言語活動」情報機器の活用方法と言語活動の充実を図るための指導方法
第 7 回	「年間指導計画の作成」指導目標・内容に基づいた 1 年間の指導計画の考え方と作成方法 「単元の指導計画の作成と評価」指導内容・方法、評価内容・方法、学習資料の作成と活用方法
第 8 回	「1 単位時間の指導計画の作成と評価」指導内容・方法、評価内容・方法と教師行動の在り方
第 9 回	「保健の指導」・「指導計画立案について」目標・内容、情報機器と言語活動の充実を伴う指導方法
第 10 回	「体づくり運動の指導」発達段階に応じた運動内容・教材・学習形態を視点とした指導計画の作成・修正
第 11 回	「走・跳の運動、陸上運動の指導」技術と運動課題・学習形態を視点とした指導計画の作成・修正
第 12 回	「ゲーム・ボール運動の指導」ボールを持たないときの動きの習得を視点とした指導計画の作成・修正
第 13 回	「器械運動(マット運動)の指導」技術と運動課題、その解決方法を踏まえた指導計画の作成・修正
第 14 回	「器械運動(跳び箱運動)の指導」技術と運動課題、その解決方法を踏まえた指導計画の作成・修正
第 15 回	「効果検証と修正」検証尺度としての診断的・総括的授業評価や形成的授業評価と指導案の改善
第 16 回	「学期末試験」指導内容・方法に関わる筆記テスト

## 到達目標

小学校学習指導要領に示されためざす資質・能力と体育科の目標・内容と評価項目・方法について、背景となる学問領域との関連を図りながら理解する。そして、体育科教育における課題に対して、指導理論を踏まえながら、主体的・対話的で深い学びの実現を通じた解決方法を検討し、指導計画立案（授業設計）の方法を追究する。

## 履修上の注意

- 第 1 回目の授業では、本講義の概要と方針を伝え、模擬授業のグループ分けをするため、必ず出席すること。
- 実技の際は、自他の安全を確保するために、体育アリーナ用のシューズと運動に適した服装で授業に臨み、ピアスやネックレス、指輪などの宝飾品を外して自己管理しておくこと。また、適宜水分補給ができるように飲料を準備しておくこと。
- 秋期の授業期間中に教育実習があるため、小学校教員を志望する学生は、春期の受講が望ましい。

## 予習・復習

- 第 10・11・12・13・14 回の授業では、あらかじめ担当グループが学習指導案を作成し、それをもとに模擬授業を実施する（体育アリーナ）。担当グループは学習指導案と授業後の修正指導案を提出すること。
- 次時の授業に向けて各種の資料を配付する。事前に熟読した上で、教科書とともに授業時に持参すること。

## 評価方法

次のように総合評価する。①試験点：60%、②作成する指導案と模擬授業後の改善指導案：40%  
※授業態度を加減点する。  
※提出した指導案に対するフィードバック内容を期末試験に活かすこと。

## テキスト

- ・教科書名：小学校学習指導要領解説体育編
- ・著者名：文部科学省
- ・出版社名：東洋館出版社
- ・出版年（ISBN）：2018 年（978-4-491-03467-6）